

辻泰弘 国会ニュース

つじ やす ひろ Kokkai News 2009年4月15日 NO. 77

雇用と医療で厚労委員会が視察！ ハローワーク、日赤医療センター訪問！！



4月7日、参議院厚生労働委員会は、現下の最大の政策課題である雇用、医療問題の現状を調査するべく、東京都内のハローワーク渋谷と日本赤十字社医療センターの視察を行いました。私、辻泰弘は、厚生労働委員長として挨拶を行うなど、視察の先頭に立ちました。また、それを受け、14日には雇用、医療問題等に関する集中的な委員会質疑を行いました。

◎ハローワーク渋谷における 辻泰弘厚生労働委員長の挨拶（一部略）

昨年年初のアメリカの金融危機に端を発して、世界経済は急激に悪化し、その余波の中で、わが国経済も急速な後退を余儀なくされております。そして、それに伴って、いわゆる非正規労働者を中心に、雇用情勢は極めて深刻な事態に立ち至っており、失業給付が急増を続けるなど、今後さらに悪化することが強く懸念されるところでございます。

このような状況の下で、私ども、参議院の厚生労働委員会におきましては、法案審査や調査などを通じて、国民生活安定の基盤である雇用・失業問題の解決に全力で取り組んできた次第でございます。既にご承知の通り、去る3月27日には、雇用保険法の一部改正案が全会一致で可決・成立したところでございます。

本日は、失業の解消、雇用の安定のための業務に最前線で携わっておられる皆様方の率直なご意見、お考えをお伺いし、国民生活の安定に向けた今後の委員会審査の参考にさせて頂きたいと念願し、こちらに参らせて頂いた次第でございます。

◎日本赤十字社医療センターにおける 辻泰弘厚生労働委員長の挨拶（一部略）

平素より、皆様方には医療を取り巻く厳しい環境の下で、周産期医療、救急医療の最前線で、その使命の全うに心血を注ぎ、ご尽力を頂き、大いなるご貢献を賜っておりますことに、心から敬意を表し、感謝申し上げる次第でございます。

さて、わが国の周産期医療、救急医療につきましては、現在、医師不足、NICU（新生児集中治療室）の整備、勤務医の労働環境の改善等、様々な課題の解決が求められております。とりわけ、昨今、妊婦の受け入れ困難事案などの問題が頻発し、周産期医療と救急医療との連携の必要性が強く叫ばれているところでございます。

このような状況の中で、私ども、参議院の厚生労働委員会におきましては、委員会審査などを通じて、国民が安心して妊娠・出産できる医療体制の確立をめざした諸般の取り組みを続けている次第でございます。

本日は、周産期医療、救急医療の現状と課題につきまして、現場の最前線で携わっておられる皆様方の率直なご意見、お考えをお伺いするとともに、施設を視察させて頂き、今後の委員会審査の参考にさせて頂きたいと念願し、参らせて頂いた次第でございます。

ご意見、ご要望はお気軽にご連絡を。なお、本号は下記のホームページに掲載済。